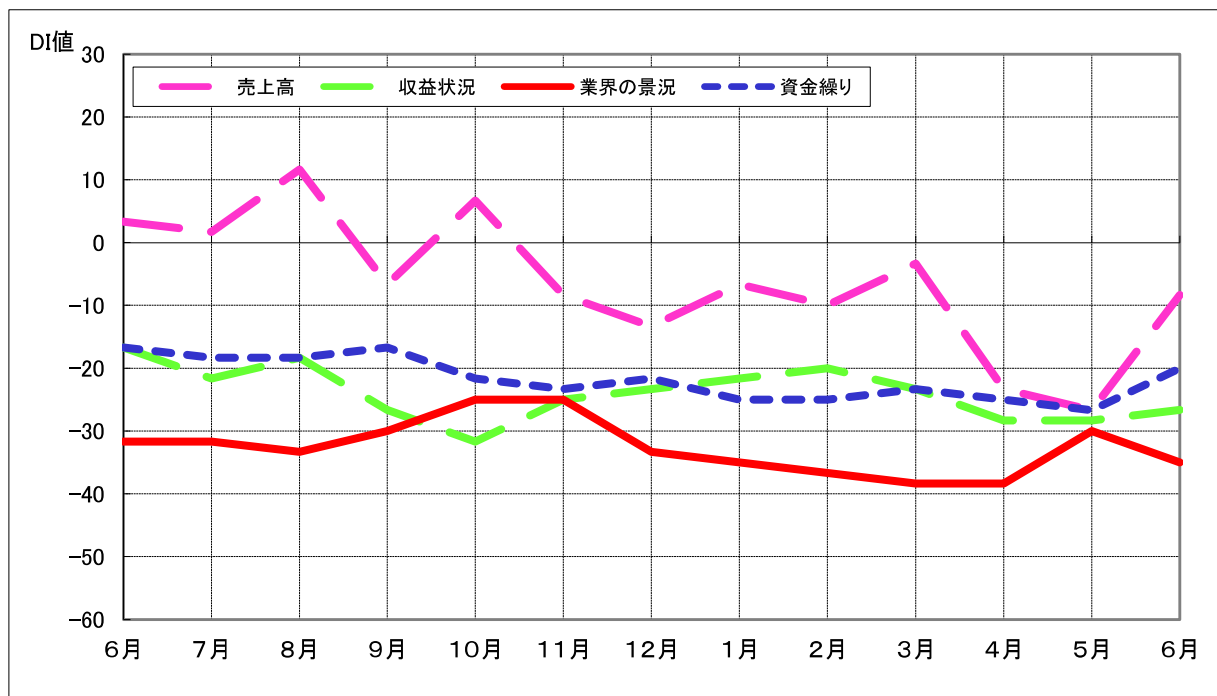


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和6年6月～令和7年6月

単位:ポイント



	R6						R7							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
売上高	3.3	1.7	11.7	-6.7	6.7	-8.3	-13.3	-6.7	-10.0	-3.3	-23.3	-26.7	-8.3	
収益状況	-16.7	-21.7	-18.3	-26.7	-31.7	-25.0	-23.3	-21.7	-20.0	-23.3	-28.3	-28.3	-26.7	
業界の景況	-31.7	-31.7	-33.3	-30.0	-25.0	-25.0	-33.3	-35.0	-36.7	-38.3	-38.3	-30.0	-35.0	
資金繰り	-16.7	-18.3	-18.3	-16.7	-21.7	-23.3	-21.7	-25.0	-25.0	-23.3	-25.0	-26.7	-20.0	

6月のDI値は前月と比べ、3項目改善、1項目悪化となった。「売上高」DI値は18.4ポイント改善のマイナス8.3ポイント、「収益状況」DI値は1.6ポイント改善のマイナス26.7ポイント、「資金繰り」DI値は6.7ポイント改善のマイナス20.0ポイント、「業界の景況」DI値は5.0ポイント悪化のマイナス35.0ポイントとなった。

前年同月比でみると、全項目悪化となった。「売上高」DI値は11.6ポイント悪化、「収益状況」DI値は10.0ポイント悪化、「業界の景況」DI値は3.3ポイント悪化、「資金繰り」DI値は3.3ポイント悪化となった。

製造業では、原材料費、燃料費、人件費等の増加により厳しい収益状況である。一部の機械器具製造業では生産コストの増加に対して価格転嫁ができていないとの声がある。金属製品製造業や機械器具製造業では、アメリカの関税政策の影響で発注先が取引を控えているとの報告がある。

非製造業では、小売業で客数の減少や物価高による買い控えが発生し、売上が減少している。左官工事業では、移動費や人件費等の経費が増加しており、元請企業に対し継続的な価格交渉を余儀なくされているとの報告がある。一般乗用旅客自動車運送業では、暑い日が続いているにもかかわらずタクシーの利用回数は減少しており、客が節約志向にあることが窺える。